

弘前大学大学院医学研究科 消化器外科学講座

袴田 健一 教授

【教室紹介】

弘前大学医学部附属病院は弘前市の中心部に位置します。すぐ近くには市役所や飲食街があり、衣食住には不自由しない環境です。ゴールデンウィークには弘前公園で満開の桜の下、お花見も楽しめます。当教室は1949年に外科学第二講座として開講、2019年には開講70周年を迎えます。袴田健一教授の指導の下、個性豊かな約50人の医師・大学院生が「地域社会から信頼される外科医療を行うこと、世界・全国に通用する外科医を育成すること、本質的な研究を行うこと」という教室目標を達成すべく、診療・教育・研究に従事しています。

医学部附属病院では「消化器外科」「乳腺外科」「甲状腺外科」の3つの診療科を担当しています。このうち消化器外科は、上部消化管外科グループ（胃・食道）、下部消化管外科グループ（小腸・大腸・肛門）、肝胆膵外科グループに分かれ、臓器別専門診療に加えて、内視鏡外科やAcute Care Surgeryなどの幅広い分野を担当しています。また、小児外科とも連携診療を行っています。

当教室の年間行事について説明します。季節の行事としては春には観覧会、冬には雪見会があります。雪見会に向けて、私たちは3×3×4mの大雪像を毎年作成しています。秋には教室旅行があります。昨年の旅行先は台湾の台北でした。12月の大忘年会には病棟看護師を含めた全スタッフが参加し、夜通し1年間の労をねぎらいます。お酒が入る行事ばかりではなく、「弘前城リレーマラソン」と「あっぱりリレーマラソン」への参加、鷹目杯（ゴルフコンペ）、二外科杯（ボーリング大会）などのスポーツ関連の行事も多数行っています。

DATA

弘前大学大学院医学研究科 消化器外科学講座

〒036-8562 青森県弘前市在府町5
<https://www.hirosaki-surgery2.org>
sanyou@hirosaki-u.ac.jp
 構成：医局員数/51人、指導医数/12人、
 研修医数/19人

【教育研修プログラムの特徴】

外科医への道は、まず外科専門医を取ることから始まります。私たちは外科医を目指す研修医の方にも、SpecialistでありGeneralistになっていただきたいと考えています。当大学の胸部心臓血管外科学講座との意見交換を経て、多様なニーズにも対応が可能な外科専門医研修プログラムを作成しました。より多くの専門性の高い手術を経験してさまざまな領域を目指せる外科医、一方で基礎研究や臨床研究などを経験して将来の外科医療に貢献できる外科医を育成します。また医師不足が問題となっている地域医療においても、幅広い技術で地域医療に貢献できる外科医を育成します。

外科専門医を取得した後は各領域のSpecialistになることが目標になります。当教室では、消化器外科、乳腺外科、小児外科領域の専門医の取得が可能です。各専門医の資格を目指す方には、それぞれ考え方や生活に合った形で、将来にわたってサポートします。

県内外の関連施設病院での教育の体制も充実しており、執刀手術件数を含めて満足度の高い研修を受けていただけます。専門性の高い治療と統合性が必要な治療、いずれについても密度の濃い臨床経験を積み重ねていただきたいと考えています。

文責：准教授 和嶋直紀

